

長野県立歴史館たより

2006年 冬号 vol.49



信州の歴史遺産Ⅰ

—新指定長野県宝と
歴史館のお宝—

十一月二十五日(土)～平成十九年一月八日(月)

はじめに

私たちのまわりにはたくさんの「文化遺産」すなわち「歴史的な文化財(歴史遺産)」があります。長野県では特に大切な文化財を「県宝」に指定し、その保護と活用を図っています。

今回の特別展ではそれらの歴史遺産にスポットを当て、本年度の新指定県宝の紹介とともに、いにしえの人びとが残した文化の足跡をたどります。原始時代の石器や土器、南北朝時代の仏画、そしてお正月にふさわしい江戸時代の華やかな屏風・浮世絵にいたるまで、各時代を彩った歴史遺産を通じて、私たちの先祖が残した「お宝」の世界へあなたも出かけてみませんか。



新指定県宝 下茂内遺跡出土品 (一部)

「県宝」ってなに？

「長野県宝」は「長野県文化財保護条例」にしたがって、県内の文化財のうち国の重要文化財になっていない有形文化財を指定します。それらは長野県文化財保護審議会の答申によって指定される仕組みで、現在二〇〇件近い文化財が県宝になっています。

県立歴史館にある「県宝」を紹介します

当館では信州ゆかりの歴史資料を収蔵しています。その中には国の重要文化財や県宝も含まれます。ここでは今年四月指定されたばかりの県宝を一件紹介しましょう。広く一般公開されるのは今回の特別展が初めてとなる「絹本着色

聖徳太子和朝先徳連坐影像」です。

この秋木曾郡上松町教育委員会から当館に寄託されました。わが国の仏教の基



新指定県宝 聖徳太子和朝先徳連坐影像

礎を築いた聖徳太子を中心に浄土真宗の有徳の先駆者・高僧を描いた掛軸です。特徴は親鸞と共に如信(親鸞の孫で本願寺二世)・覚如(同三世)を入れる古い形態で全国でも三点しか確認されていない貴重なものです。

お正月は歴史館を楽しもう

当館はお正月三が日も開館します。この三日間は入館無料のうえ、一月三日には館内で古典芸能家・せんげもん(中野哲良)氏による「獅子舞と独楽まわし」をご覧いただけます。信州の文化遺産と古きよき日本の芸能を歴史館で堪能してみたいかがでしょう。

関連行事

- ①講演会「みんなの宝を守ろう」
十一月二十五日(土)午前一〇時三〇分～
- ②体験講習「わら細工に挑戦！」
十二月三日(土)午後一時三〇分～
- ③正月芸能公演「獅子舞と独楽まわし」
新年一月三日(水)午後一時三〇分～

平成十八年度冬季展

信濃の人形 —いのりと願い—

■平成十九年一月二〇日(土)～三月四日(日)

一月二〇日(土)から三月四日(日)まで、

冬季展「信濃の人形—いのりと願い—」をおこないます。当館所蔵の「田中平八コレクション」はもとより、県内各地に伝わるさまざまな雛人形を展示します。

人形のはじまり

太古の時代から人びとは、いのりや願いをこめて人形を作ってきました。縄文時代の土偶や古墳時代の埴輪もその一つです。千曲市屋代遺跡群から、ひとの姿を意識した木製品「ひとがた」が多数発

見されています。これらは身に降りかかった災いを吸い

取らせはうために使われていたと考えられています。



天児（諏訪市貞松院蔵）

平安時代になると幼児の災難除けのため、「天児」や「這子」といった人形がつくられるようになりました。

人形に願いを込めて

江戸時代に入ると道祖神信仰が民衆の間に広がります。松本城下町周辺には木像の道祖神が数多く伝わっており、子どもたちの成長を守る神様として扱われてきました。

また北信地方にもヌルデ・マツの表皮を削った丸木に顔を墨書きして和紙の着物を着せるものが作られ、子どもや人びとの安全を守るために道端の石の祠や石造道祖神などに供えられました。



道祖神木像（松本市博物館蔵）

健やかな成長を願って

子どもの健やかな成長を願って作られた人形の代表が雛人形です。雛人形の歴史は古く、平安時代に貴族の間でおこなわれていた「ひひな遊び」に使われていた人形がその原型だといわれています。それが江戸時代になって享保雛・次郎左衛門雛・古今雛など華やかな姿に変わっていききました。人びとのいのりと願いのこめられた雛人形をご覧ください。

収蔵資料紹介

軍法兵法記（刷本 江戸時代前期）

平成一九年一月より山本勘介を主人公にした「風林火山」がドラマ放映されます。山本勘介は『甲陽軍鑑』などに武田信玄の軍師として描かれた著名な武将ですが、実否不明な人物です。

江戸時代になると甲州流軍学が幕府公認の官学となります。さらに江戸時代後期の刊本の隆盛や武者絵の流行などによって、庶民のあいだでも甲州流軍学ひいては軍師山本勘介に脚光があたりました。

勘介の著作として伝えられているものに「軍法兵法記」（全四巻）があります。奥書は天文一五年五月、勘介の署判があります。原本は現存しておらず、全国に写本と刷本が数点知られているに過ぎません。古い和綴の表紙の館蔵本は四巻すべてそろっている全国でもめずらしいものです。勘介の名を借りたゴーストライターが記した可能性も高いのですが、成立時期や作者を含め今後さらに検討したいものです。



表紙の写真の説明

けんほんちゃくしよくしょうとくたいしわちようせんとかれんざいぞう

絹本著色聖徳太子和朝先徳連坐影像（部分）

南北朝時代 県宝（上松町教育委員会蔵 当館寄託）

わが国の仏教興隆の祖である聖徳太子像は、中世になると新旧仏教各教団の共通の聖人として崇められるようになります。童形の本像は浄土真宗の高僧たちと共に描かれています。上松町の東野阿弥陀堂に伝世したものです。

■行事アルバム

【10月1日 古文書愛好会臨地実習】



午前中は松本市文書館、午後は塩尻市教育委員会古文書室で実際に古文書を見ながら研修を深めました。

【10月14日 考古学講座 遺跡探訪会】



千曲川（信濃川）下流の新潟県の博物館や遺跡を訪ね、火焔土器など隣接地域の歴史について実地で学びました。

■編集後記

特別展「信州の歴史遺産展Ⅰ」を開催中です。
正月三が日も開館しています。ぜひご来館ください。

長野県立歴史館たより 冬号 vol.49

2006年（平成18）12月1日発行

編集・発行 長野県立歴史館

〒387-0007 千曲市屋代清水 科野の里歴史公園内
電話 026-274-2000(代) FAX 026-274-3996
E-mail rekishikan@pref.nagano.jp
ホームページ http://www.npmh.net

印刷 奥山印刷工業株式会社

INFORMATION

インフォメーション

■2006年 2007年

12月～3月の行事予定

12月

休館日
4・11
18・25
27～31

特別展

信州の歴史遺産Ⅰ
—新指定長野県宝と
歴史館のお宝—
2006/11/25～
2007/1/8
11/25 講演会
「みんなの宝を守ろう」
12/23 体験講習
「わら細工挑戦」
1/3 正月芸能講演
「獅子舞と独楽まわし」

講座

やさしい信濃の歴史講座
12/9 第2回【古代】
国分寺の建立と古代
の仏教
ふれあい歴史講座
12/16

常設展示替え

・商人と市

1月

休館日
9・15
22・29

正月三が日も開館

特別展

信濃の雛人形
—いのりと願い—
1/20～3/4
2/3 体験講座
「折り紙講座」
2/17 体験講座
「まゆびなつくり」
2/24 講演会
「ムラ社会い生き続ける
人形たち」

講座

やさしい信濃の歴史講座
1/13 第3回【中世】
名僧をうんだ仏国信濃
ふれあい歴史講座
1/6、20、27

常設展示替え

・工女の生活
・合戦図と武士の世界

2月

休館日
5・13
19・26

講座

やさしい信濃の歴史講座
2/10 第4回【近世】
伊勢参りと善光寺参り
ふれあい歴史講座
2/3、17

常設展示替え

・中山道福島宿

3月

休館日
5・12
19・22
26

速報展

長野県
遺跡発掘2007
3/17～5/13

講座

やさしい信濃の歴史講座
3/10 第5回【近代】
^{はいふつ}廃仏毀釈とキリスト教
ふれあい歴史講座
3/3、17

速報展「長野県の遺跡発掘2007」のご案内

期間：3月17日(土)～5月13日(日)



平成18年度、長野県埋蔵文化財センターでは県内22ヵ所で発掘調査をおこないました。速報展では旧石器時代から近世の遺跡の出土品を展示します。